

第5回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(自治体部門 優良賞) 受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	袋井市	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	静岡県袋井市
	電話	0538-84-7534
	E-mail	chiikihoukatsu@city.fukuroi.shizuoka.jp
	ホームページURL	http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kenko_jryo/
キーワード	多職種・多機関の連携体制構築、総合相談窓口、居場所づくり、認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム設置	
取組・事業の名称	赤ちゃんから高齢者まで、みんなで元気にしあわせに！ 市民みんなで人生トータルの健康づくり！「はーとふるプラザ袋井」	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位 具体的な範囲: 袋井市	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴(600字以内を目安にしてください)

保健・医療・介護・福祉の各部門が集約した「袋井市総合健康センター(はーとふるプラザ袋井)」を、平成27年5月に地域包括ケアシステムの拠点として開設。施設内には行政機関の他、社会福祉協議会、聖隷袋井市民病院、休日急患診療室がある。誰もが住み慣れた地域で健やかに自分らしく暮らし続ける地域包括ケアシステムの実現のために、関係機関が連携しながら、地域住民と共に様々な健康づくりや介護予防などの活動を実施している。

■具体的な取組

①施設内の行政部門と社会福祉協議会で連携し「総合相談窓口」を開設

保健師や看護師、主任介護支援専門員や社会福祉士など多職種を配置して、「心をこめた」総合相談を実施。相談内容により地域包括支援センターなどの関係機関と連携。

②居場所「おんないカフェ」の実施

ボランティア「お元気サポーター」メンバーにより施設内の交流スペースで月に1回居場所「おんないカフェ」を実施。毎月20～30人ほどの参加がある。ひとり暮らしの高齢者や、時には赤ちゃんや子供づれのお母さんも参加。世代を超えた交流があり、開催日には市内の障がい者の授産施設によるパン販売も実施。

③施設内で月に一回認知症カフェ「は～とふるカフェ」を開催

保健師や看護師、ケアマネなど市職員の他、聖隷袋井市民病院の相談員(看護師)や認知症キャラバン・メイト、精神保健福祉士なども参加。認知症の方や家族、認知症について心配な方などが参加し参加者どうしの交流の場、相談の場となっている。

④センター内に「認知症初期集中支援チーム」を設置

併設する市民病院との連携の強みを発揮して多職種がチームを組み、認知症が疑われる人や認知症状があるものの医療や介護保険サービスなどにつながらず困っている方などを訪問し、受診につなげたり、医療やサービスなどの導入につなげるなどの支援を集中的に行っている。